

学校評価シート（自己評価）

草加氷川幼稚園
令和6年度分

園の教育目標

生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を友達や教師と一緒に楽しく充実した幼稚園生活を送る中で養い、自己を形成していくことを目指す。そのために、子どもとの信頼関係を十分に築くこと、よりよい教育環境を構成することに努め取り組む。

本園の教育目標として、次の4つの項目を掲げる。

- ・明るくのびのびとした子
- ・やさしい豊かな心の子
- ・考える子
- ・規律正しい子

学年目標

それぞれの学年において下記の目標を設定している。

- 年 長
 - ・自分のことは自分でする
 - ・人の話を最後まできちんと聞き、理解する
 - ・自分の考えを相手に伝えられる
- 年 中
 - ・自分の考えをしっかり持つ
 - ・友達と協力し合いながら、積極的に園生活を送る
- 年 少
 - ・基本的生活習慣を身に付ける
 - ・友達と一緒に遊んだり活動したりする
- 満3歳児
 - ・基本的生活習慣を知り、自分でしようとする
 - ・様々な人との触れ合いを通し、関わることの楽しさを知る

教育目標、学年目標を常に意識し、「心を込めて、あたたかく」を心がけて進める。

評価項目の取組及び達成状況

評価項目は、以下のように設定した。

評 価 項 目	結果(※)	結 果 の 理 由
I 保育の計画性	A(2.55)	子どもの実態に即した内容にするために話し合いを重ね、教育計画に加筆、訂正を行いながら進め、より充実できるよう改善に努めることができた。

II 保育の在り方	A(2.65)	学年により異なってくるものの、各自日々の記録や連携を意識し取り組み、主任を中心に学年内での差異が生じないように努めている。また、子どもたちが理解しやすいよう様々な指導方法を話し合い意見を取り入れることが出来た。
III 教師の姿勢	A(2.69)	幼稚園教諭として、変化を前向きに受け止め子どもたちにとって教員が大きな環境であるということを意識し関わる事が出来ていた。
IV 保護者対応	A(2.79)	園、クラス便り、メールなどで必要な情報を発信し個人面談等丁寧にこまめに連絡を取り連携を図り接することが出来た。これらを通して保護者との信頼関係の構築に努めることができた。
V 地域等関わり	B(2.10)	学期により意識の違いが表れた。地域や小学校との交流機会も増えてはきたものの、学年によって差異がある。大きな結果に表れる程の関わりにはいたっていないものの、年間を通し、小学校の授業参観をさせて頂いたことで、職員の意識向上につながった。
VI 研修・研究	A(2.29)	埼玉県私立幼稚園協会で実施の「保育実践研究協議会」で問題提起、記録の係を担当した。担当者を含む職員で時間をとり共通理解を図った。今回の研修を通して教員の学びにつながった。

具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A(2.51)	働き方改革等目まぐるしく変化する世の中で、大事にすべきことをあらためて考え、子どもたちの育ちに繋げるにはどうしたらよいか、変化に柔軟に対応し、各自適切に考え、自己点検・自己評価に取り組んでいた。業務も多く忙しい中ではあるが、その中でも各自が質を高めようと努める姿も見られた。

結果（※）について

A(2.1～3)	十分達成されている
B(1.1～2)	達成されている
C(0.1～1)	取り組まれているが成果が十分ではない

今後取り組むべき課題

課 題	
情報公開の方法	現在、園だより・保育参観日・園行事等を通して保護者へ幼稚園の情報を提供しているが、情報公開として一般の方が利用しやすいホームページ等の活用も積極的に行い情報発信について検討していく。紙媒体の良さもある為、場面に応じ検討し適切な方法を考えていく。
職員研修	より充実して保育に向かえるように、研修・環境整備に力を入れる。
教育計画の編成	計画作成のために既存の教育計画に訂正、加筆を加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな計画編成に取り組んでいく。 幼児教育における、ICTの活用についても子どもの実態を踏まえ推進、検討し生かしていくよう取り組んでいく。
未就園児事業の拡充	満3歳児入園希望者が増加している。このことに対応するため、クラス数を増やし、一定の受け入れを行うための人員、環境整備に取り組んでいく。より充実した教育を進めるためにも教育課程の構築、PDCAサイクルを意識し進めていく。

学校評価シート（学校関係者評価）

草加氷川幼稚園 関係者評価評議員会

日 時 令和7年5月13日（火）

11:30～12:30

出席者 評価委員

（保護者・父母の会会長・副会長・会計・広報責任者）4名

○自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・適切である。
- ・子どもたちも充実した園生活を送れました。
- ・様々な行事の準備等、先生方のご苦勞に感謝しています。

○評価結果の内容は適切であったか

- ・適切である。

○今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・子どもたちは明るく、充実した保育を受けている。引き続き維持してほしい。

○今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・変化に柔軟に対応し、適切に取り組んでいる様子が見られた。